

2026年2月期
第2四半期決算説明資料

プログレス・テクノロジーズグループ株式会社
2025年10月14日



PROGRESS
TECHNOLOGIES

目次

①	2026年2月期 第2四半期決算概要	3
②	2026年2月期 下期業績見通しと重点戦略	15
③	ディスクロージャー・IRポリシー	24

2026年2月期 第2四半期決算概要

2026年2月期 2Q累計 連結業績サマリー

当第2四半期は連結売上収益・連結営業利益ともに前年比で大きく伸び、累計の売上収益は前年比+7.3%で着地。その他の収益に計上された受取補償金201百万円を除く調整後営業利益は前年比△4.6%と、第1四半期のビハインドを吸収。

売上収益	売上総利益	調整後 営業利益	税引前利益	当期利益
2,973百万円	1,292百万円	624百万円	793百万円	533百万円
+7.3%	+7.2%	△4.6%	+26.3%	+17.4%
(前2Q比)	(前2Q比)	(前2Q比)	(前2Q比)	(前2Q比)

年間計画 売上進捗率	ソリューション 比率 (含むデジタルツイン)	売上総利益率	調整後 営業利益率	当期利益率
47.7%	57.8%	43.5%	21.0%	17.9%
△1.4pt	+3.6pt	0.0pt	△2.6pt	+1.5pt
(前2Qとの差)	(前2Qとの差)	(前2Qとの差)	(前2Qとの差)	(前2Qとの差)

連結業績概況（2Q累計）

通期業績予想に対する2Q時点での売上収益の進捗率は47.7%。前期に計上済の和解金500百万円に関連した受取補償金201百万円を「その他の収益」に計上。当該影響を控除した調整後営業利益は前期比△4.6%で着地。

2025年3月～ 2025年8月(6ヶ月) (百万円)	前2Q(累計)		当2Q(累計)					通期業績予想	
	実績	売上 構成比	実績	売上 構成比	前期差	前期比	進捗率	計画	売上 構成比
売上収益	2,771	100.0%	2,973	100.0%	+202	107.3%	47.7%	6,236	100.0%
売上総利益	1,205	43.5%	1,292	43.5%	+87	107.2%	46.7%	2,765	44.3%
販売費及び一般管理費	554	20.0%	666	22.4%	+112	120.2%	51.9%	1,284	20.6%
その他の収益	14	0.5%	206	6.9%	+192	1,471.4%	102.5%	201	3.2%
その他の費用	10	0.4%	5	0.2%	△ 5	50.0%	14.3%	35	0.6%
営業利益	654	23.6%	826	27.8%	+172	126.3%	50.1%	1,648	26.4%
調整後営業利益	654	23.6%	624	21.0%	△ 30	95.4%	43.2%	1,446	23.2%
税引前四半期利益／ 税引前利益	628	22.7%	793	26.7%	+165	126.3%	50.0%	1,586	25.4%
四半期利益／ 当期利益	454	16.4%	533	17.9%	+79	117.4%	48.5%	1,098	17.6%

連結業績概況（2Q）

当第2四半期における売上収益の前期比は+16.5%、受取補償金の影響を控除した調整後営業利益は前期比+31.8%と好調に推移した。事業環境の不透明感も解消しつつあり、通期の業績計画達成に向け、計画通りに進捗している状況。

2025年6月～ 2025年8月(3ヶ月) (百万円)	前2Q		当2Q			
	実績	売上 構成比	実績	売上 構成比	前期差	前期比
売上収益	1,227	100.0%	1,429	100.0%	+202	116.5%
売上総利益	484	39.4%	608	42.5%	+124	125.6%
販売費及び一般管理費	293	23.9%	358	25.1%	+65	122.2%
その他の収益	6	0.5%	206	14.4%	+200	3,433.3%
その他の費用	5	0.4%	1	0.1%	△ 4	20.0%
営業利益	192	15.6%	455	31.8%	+263	237.0%
調整後営業利益	192	15.6%	253	17.7%	+61	131.8%
税引前四半期利益／ 税引前利益	178	14.5%	439	30.7%	+261	246.6%
四半期利益／ 当期利益	132	10.8%	296	20.7%	+164	224.2%

※1 調整後営業利益はその他の収益に計上した一過性の収益である受取補償金201百円を営業利益より控除して算出しております。

事業別業績概況（2Q累計）

主力のソリューション事業は前年同期比増収・増益かつ上期計画を上回って着地。デジタルツイン事業は上期計画に対して若干の未達となるも、下期の案件取り込みに向けて営業活動を強化。エンジニアリング事業は単価向上に取り組み、売上総利益ベースでは上期計画を達成。

2025年3月～ 2025年8月(6ヶ月) (百万円)		前2Q(累計)		当2Q(累計)						上期業績予想	
		実績	売上構成比 粗利率	実績	売上構成比 粗利率	前期差	前期比	計画差	計画比	計画	売上構成比 粗利率
ソリューション事業	売上収益	1,469	53.0%	1,625	54.7%	+156	110.6%	+64	104.1%	1,561	53.0%
	売上総利益	823	56.0%	887	54.6%	+64	107.8%	+29	103.4%	858	55.0%
デジタルツイン事業	売上収益	32	1.2%	93	3.1%	+61	290.6%	△ 11	89.4%	104	3.5%
	売上総利益	2	6.3%	34	36.6%	+32	1,700.0%	△ 12	73.9%	46	44.2%
エンジニアリング事業	売上収益	1,269	45.8%	1,254	42.2%	△ 15	98.8%	△ 23	98.2%	1,277	43.4%
	売上総利益	379	29.9%	370	29.5%	△ 9	97.6%	+3	100.8%	367	28.7%
連結業績	売上収益	2,771	100.0%	2,973	100.0%	+202	107.3%	+29	101.0%	2,944	100.0%
	売上総利益	1,205	43.5%	1,292	43.5%	+87	107.2%	+20	101.6%	1,272	43.2%

事業別業績概況（2Q）

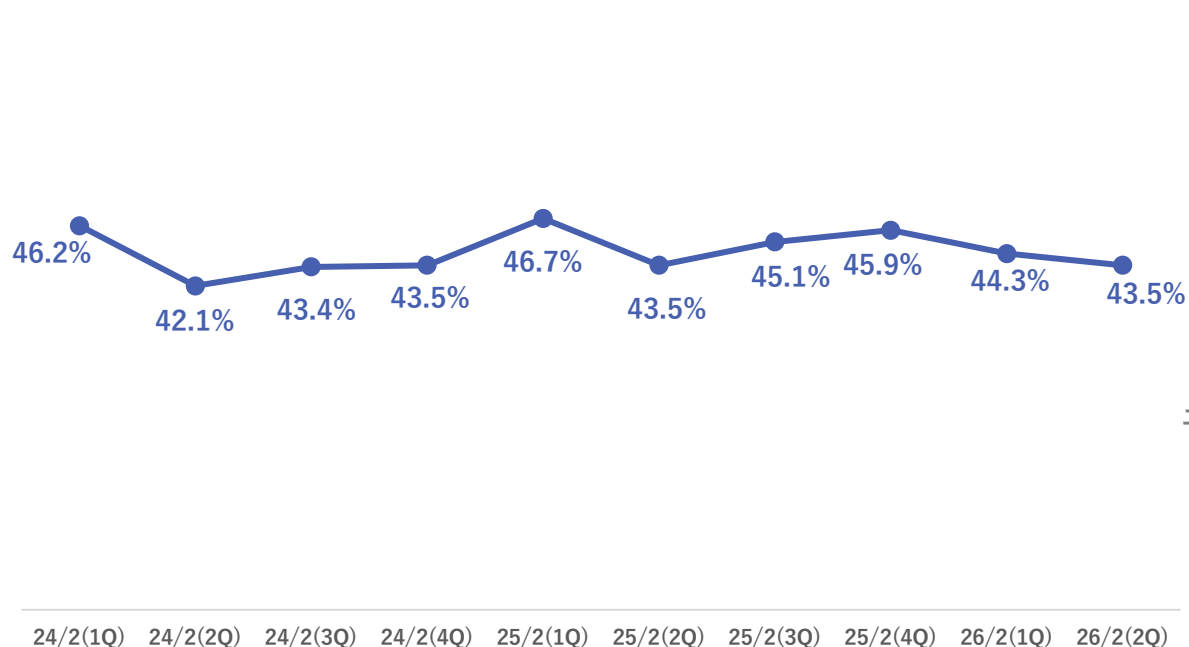
ソリューション事業は前第2四半期比較で売上・売上総利益ともに約3割伸長。エンジニアリング事業は4月入社の新卒社員の配属がスタートし、前第2四半期比較で増収・増益で着地。

2025年6月～ 2025年8月(3ヶ月) (百万円)		前2Q		当2Q			
		実績	売上構成比 粗利率	実績	売上構成比 粗利率	前期差	前期比
ソリューション事業	売上収益	580	47.3%	754	52.8%	+174	130.0%
	売上総利益	295	50.9%	403	53.4%	+108	136.6%
デジタルツイン事業	売上収益	0	0.0%	11	0.8%	+11	-
	売上総利益	△ 16	-	△ 12	-	+4	75.0%
エンジニアリング事業	売上収益	646	52.6%	662	46.3%	+16	102.5%
	売上総利益	206	31.9%	217	32.8%	+11	105.3%
連結業績	売上収益	1,227	100.0%	1,429	100.0%	+202	116.5%
	売上総利益	484	39.4%	608	42.5%	+124	125.6%

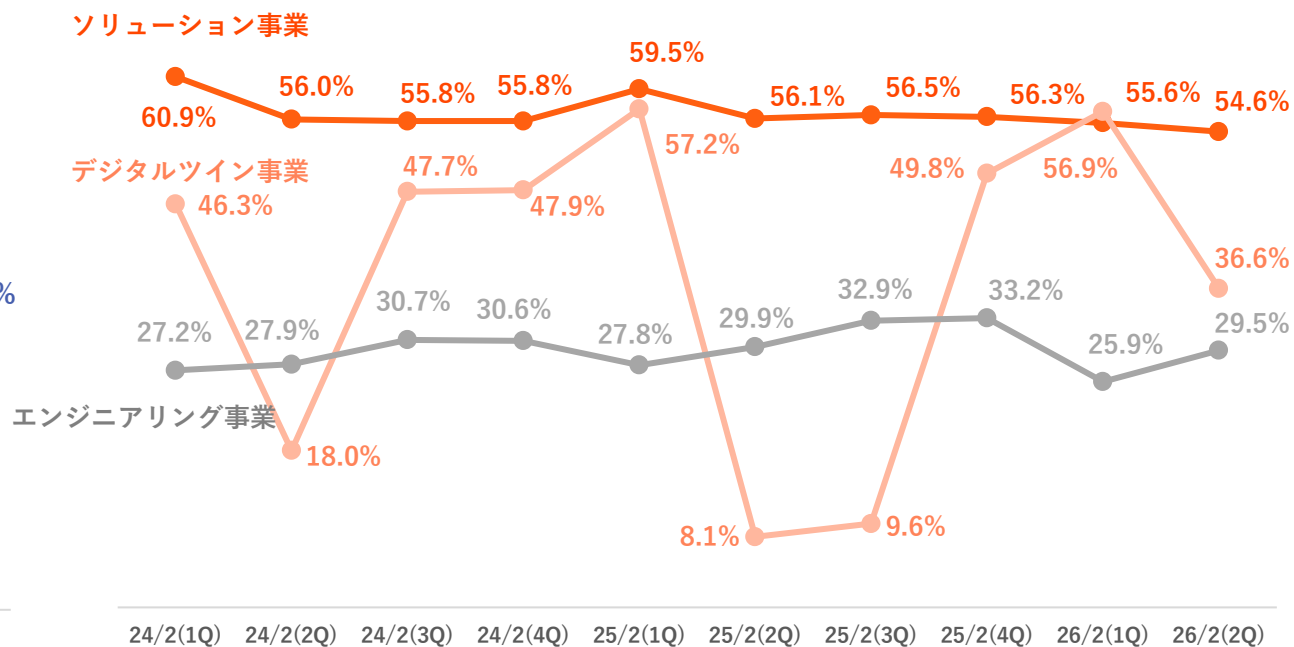
連結売上総利益・事業別売上総利益率の推移

上期の連結売上総利益率は43.2%の計画に対して43.5%と計画を上回って着地。ソリューション事業の売上総利益率は55%程度で安定的に推移。エンジニアリング事業は4月入社の新卒社員の配属スタート・単価向上の取り組みの結果、売上総利益率は第1四半期対比3.6pt改善。

連結売上総利益率の推移



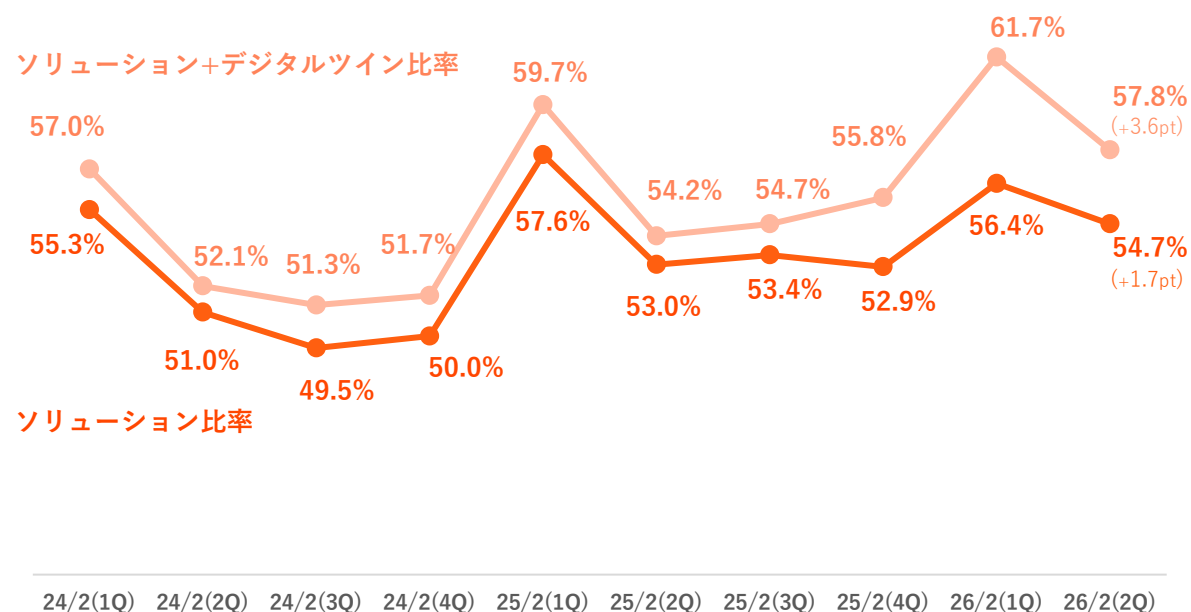
事業別売上総利益率の推移



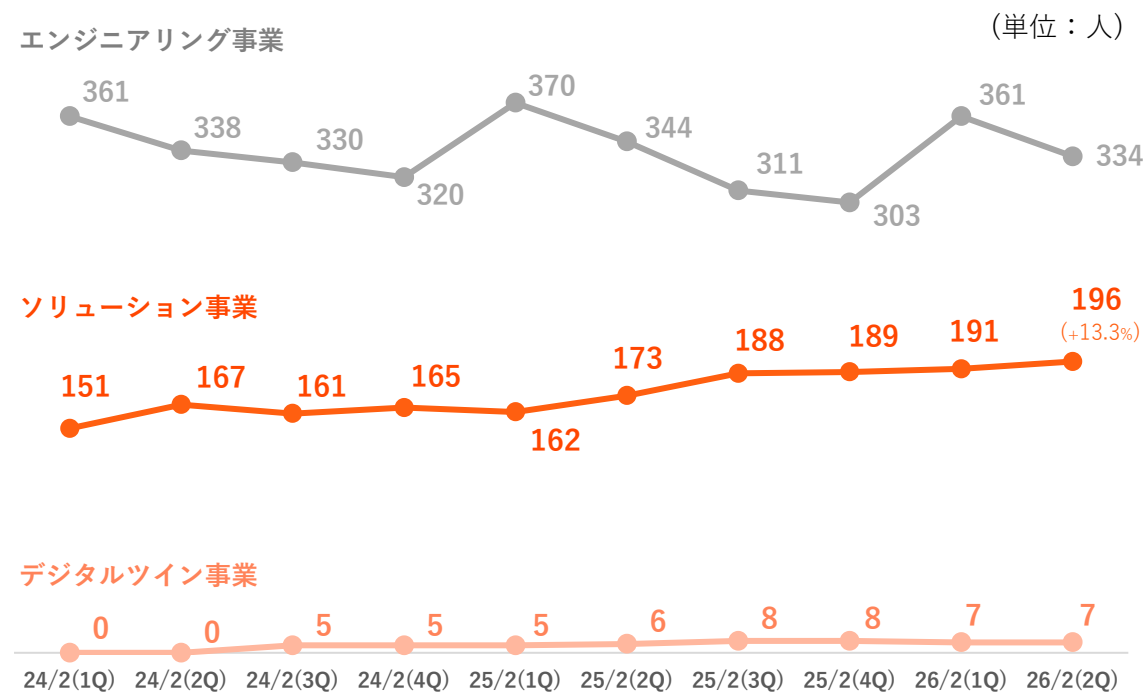
ソリューション比率・事業別人員数

中途即戦力人材の採用、エンジニアリング事業からの異動により、2025年8月末時点のソリューション事業の人員数は196名と前年同月比13.3%の増加。

ソリューション比率の推移



事業別人員数の推移



販管費の内訳（2Q累計）

販管費は前期比約2割の増加となるも、計画の範囲内。戦略的に採用費等のコストを投下し、優秀なコンサルタント・エンジニアの採用を積極的に行っていく方針。

2025年3月～ 2025年8月(6ヶ月) (百万円)	前2Q(累計)		当2Q(累計)			
	実績	売上 構成比	実績	売上 構成比	前期差	前期比
売上収益	2,771	100.0%	2,973	100.0%	+202	107.3%
販売費及び一般管理費	554	20.0%	666	22.4%	+112	120.2%
人件費	302	10.9%	318	10.7%	+16	105.3%
採用費	41	1.5%	64	2.2%	+23	156.1%
支払手数料・支払報酬料	65	2.3%	63	2.1%	△ 2	96.9%
減価償却費	64	2.3%	90	3.0%	+26	140.6%
その他	81	2.9%	129	4.3%	+48	159.3%

販管費の内訳（2Q）

販管費は前期比22.2%増加。採用費（前期比+12百万円）、教育研修費（前期比+13百万円）など一時的な費用の増加によるものであり、計画の範囲内で推移。

2025年6月～ 2025年8月(3ヶ月) (百万円)	前2Q		当2Q			
	実績	売上 構成比	実績	売上 構成比	前期差	前期比
売上収益	1,227	100.0%	1,429	100.0%	+202	116.5%
販売費及び一般管理費	293	23.9%	358	25.1%	+65	122.2%
人件費	150	12.2%	163	11.4%	+13	108.7%
採用費	27	2.2%	39	2.7%	+12	144.4%
支払手数料・支払報酬料	24	2.0%	27	1.9%	+3	112.5%
減価償却費	38	3.1%	50	3.5%	+12	131.6%
その他	52	4.2%	77	5.4%	+25	148.1%

連結BS

IPO時の公募増資による調達資金は現預金（流動資産）および資本の部に計上。適切なキャッシュアロケーションを実施し、バランスシートマネジメントを行っていく方針。

(百万円)	2025年2月末		2025年8月末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期差
流動資産	2,127	24.1%	4,026	37.1%	+1,899
現金及び現金同等物	905	10.2%	2,902	26.7%	+1,997
営業債権及びその他の債権	829	9.4%	737	6.8%	△ 92
棚卸資産	76	0.9%	60	0.6%	△ 16
非流動資産	6,702	75.9%	6,835	62.9%	+133
有形固定資産	1,354	15.3%	1,447	13.3%	+93
のれん	4,964	56.2%	4,964	45.7%	0
無形資産	141	1.6%	128	1.2%	△ 13
その他の金融資産(非流動)	54	0.6%	83	0.8%	+29
繰延税金資産	164	1.9%	174	1.6%	+10
資産合計	8,830	100.0%	10,861	100.0%	+2,031

有利子負債

3,819 百万円

(25/2末との差 △19 百万円)

純有利子負債

917 百万円

(△2,016 百万円)

(百万円)	2025年2月末		2025年8月末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期差
流動負債	1,685	19.1%	1,994	18.4%	+309
営業債務及びその他の債務	208	2.4%	253	2.3%	+45
借入金	327	3.7%	327	3.0%	+0
その他の金融負債(流動)	263	3.0%	337	3.1%	+74
非流動負債	3,486	39.5%	3,412	31.4%	△ 74
借入金	2,450	27.7%	2,296	21.1%	△ 154
その他の金融負債(非流動)	840	9.5%	922	8.5%	+82
資本	3,657	41.4%	5,454	50.2%	+1,797
資本金・資本剰余金	1,755	19.9%	3,017	27.8%	+1,262
利益剰余金	1,875	21.2%	2,408	22.2%	+533
負債及び資本合計	8,830	100.0%	10,861	100.0%	+2,031

株主資本比率

50.2 %

(+8.8 pt)

のれん株主資本比率

91.0 %

(△44.7 pt)

連結CF

2025年3月～
2025年8月(6ヶ月)
(百万円)

	前2Q	当2Q		
	実績	実績	前期差	前期比
現金及び現金同等物の期首残高	792	905	+113	114.3%
営業活動によるキャッシュ・フロー	846	1,128	+282	133.3%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 283	△ 91	+192	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 275	959	+1,234	-
現金及び現金同等物の増減額	287	1,996	+1,709	695.5%
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,080	2,902	+1,822	268.7%
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	563	1,037	+474	184.2%

2026年2月期 下期業績見通しと重点戦略

2026年2月期 下期連結業績計画

2026年2月期の通期計画から上期実績を差し引いた下期計画は以下の通り。連結売上収益で前期比+13.4%、調整後営業利益で前期比+8.2%の計画。

(百万円)	2026年2月期			2026年2月期				2025年2月期	
	上期実績(A)	進捗率	通期計画(B)	下期計画(B-A)	売上構成比 粗利率	前期差	前期比	下期実績	売上構成比 粗利率
売上収益	2,973	47.7%	6,236	3,263	100.0%	+386	113.4%	2,877	100.0%
ソリューション事業	1,625	48.0%	3,385	1,760	53.9%	+240	115.8%	1,520	52.8%
デジタルツイン事業	93	37.2%	250	157	4.8%	+30	123.6%	127	4.4%
エンジニアリング事業	1,254	48.2%	2,601	1,347	41.3%	+118	109.6%	1,229	42.7%
売上総利益	1,292	46.7%	2,765	1,473	45.1%	+87	106.3%	1,386	48.2%
ソリューション事業	887	48.0%	1,848	961	54.6%	+101	111.7%	860	56.6%
デジタルツイン事業	34	24.8%	137	103	65.6%	+26	133.8%	77	60.6%
エンジニアリング事業	370	47.4%	780	410	30.4%	△ 41	90.9%	451	36.7%
販売費及び一般管理費	666	51.9%	1,284	618	18.9%	△ 1	99.8%	619	21.5%
営業利益	826	50.1%	1,648	822	25.2%	+562	316.2%	260	9.0%
調整後営業利益	624	43.2%	1,446	822	25.2%	+62	108.2%	760	26.4%

2026年2月期 下期における重点戦略

当下期においては、ソリューション事業の強化に向けた各種取り組みを継続実施すると共に、顧客ポートフォリオ拡大に向けた新規取引先の獲得・既存取引先との取引深耕を推進。新卒・中途両方の採用活動に引き続き注力。

下期重点戦略

ソリューション事業強化

- **ソリューション案件刈り取り**
 - ・設計・製造のデジタル連携等の予算が集まる開発テーマにリソースを投下
 - ・制御領域MBD、HiLS/MiLS領域等の需要が高まる分野に熟練者をアサイン
- **提案力強化**
 - ・プロジェクトマネジャー、現場リーダーの採用・育成

ソリューション事業に人的リソースをシフトし、設計開発プロセスのデジタル化ニーズに対応。

エンジニアリング事業からソリューション事業への異動人員数

26名

顧客ポートフォリオ拡大

- **顧客ニーズの深掘りと案件化**
 - ・防衛産業における情報構造化プロジェクト、産業用機械の制御ソフト開発等の新たな領域での案件受注
- **パートナー企業との協業**
 - ・パートナー企業と協働し、建機メーカー向けにソフト開発プロセスの整理・標準化案件を提案中

自動車OEM・Tier1の案件取り込みを継続する一方、サービス提供先の業界を広げ、事業リスクを低減。

自動車以外の業界への顧客ポートフォリオ拡大

半導体・精密機械・医療・重工業

採用強化

- **2026年4月入社新卒採用**
 - ・10月に内定式実施（参加内定者数：81名）辞退抑制と更なる内定者数の積み上げに注力
- **SA/PM人材の獲得**
 - ・顧客ニーズを正確にキャッチし、複数のプロジェクトをマネジメント出来るSA/PM人材の採用に注力

新卒社員の採用は引き続き注力。中途採用は高い技術力を持つ即戦力人材にフォーカス。

新卒内定者数

81名 → 更に積み上げ

中途採用数

12名

メーカーの課題とフロントローディングの重要性

技術の進展による製品要求の多様化・高度化を背景とした工数増加に伴い、メーカーによる自社完結が困難に。
市場での競争優位性を高めるには、前倒し可能な作業を設計開発の段階で作り込むことが不可欠（フロントローディング）。

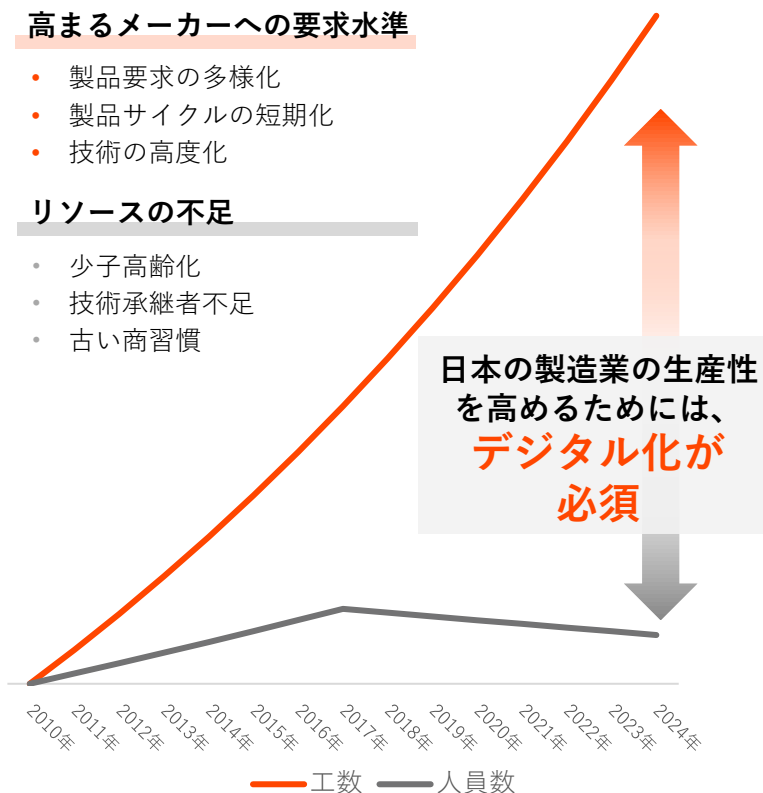
要求水準の高まりとリソース不足

高まるメーカーへの要求水準

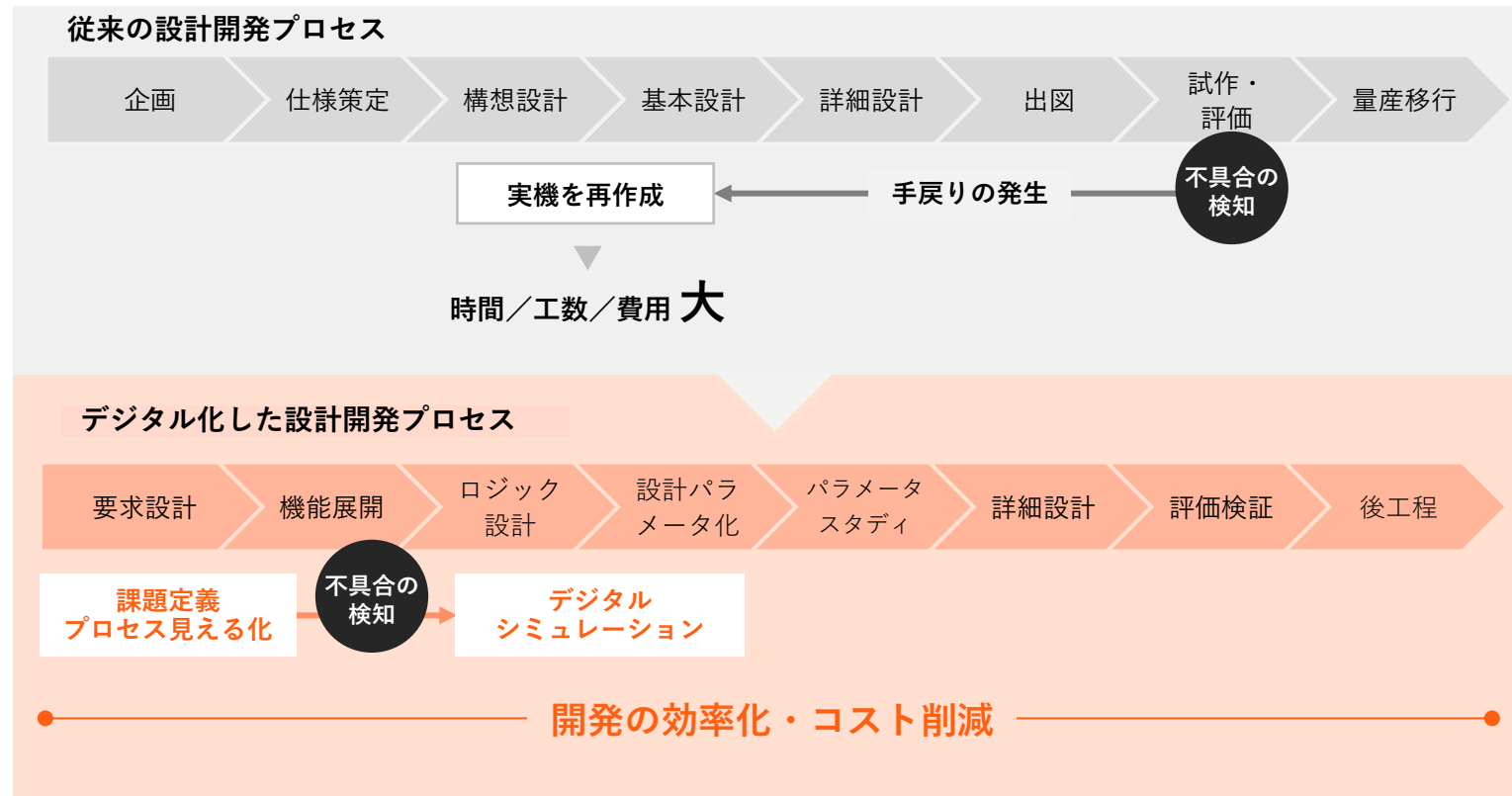
- ・ 製品要求の多様化
- ・ 製品サイクルの短期化
- ・ 技術の高度化

リソースの不足

- ・ 少子高齢化
- ・ 技術承継者不足
- ・ 古い商習慣



不具合の検知タイミングの前倒し（フロントローディング）

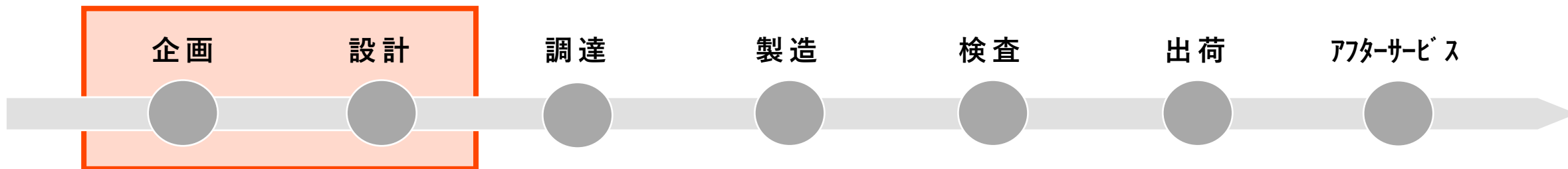


プログレスの提供価値（領域特化で高い付加価値を実現）

設計開発領域に特化し、課題の抽出からツールの選定、プロセスの設計、運用定着をワンストップで実行。
最先端技術が集積する業界に特化し、グローバルの競争力を持った国内トップ企業との取引を実現。



設計開発領域



製品開発プロセスの上流工程に特化

日本の最先端技術が集積する5つの業界に特化

設計部門を中心とした製品開発プロセスの上流工程

市場調査、商品企画、基本設計、システム設計、工程図の作成

自動車

半導体

精密
機械

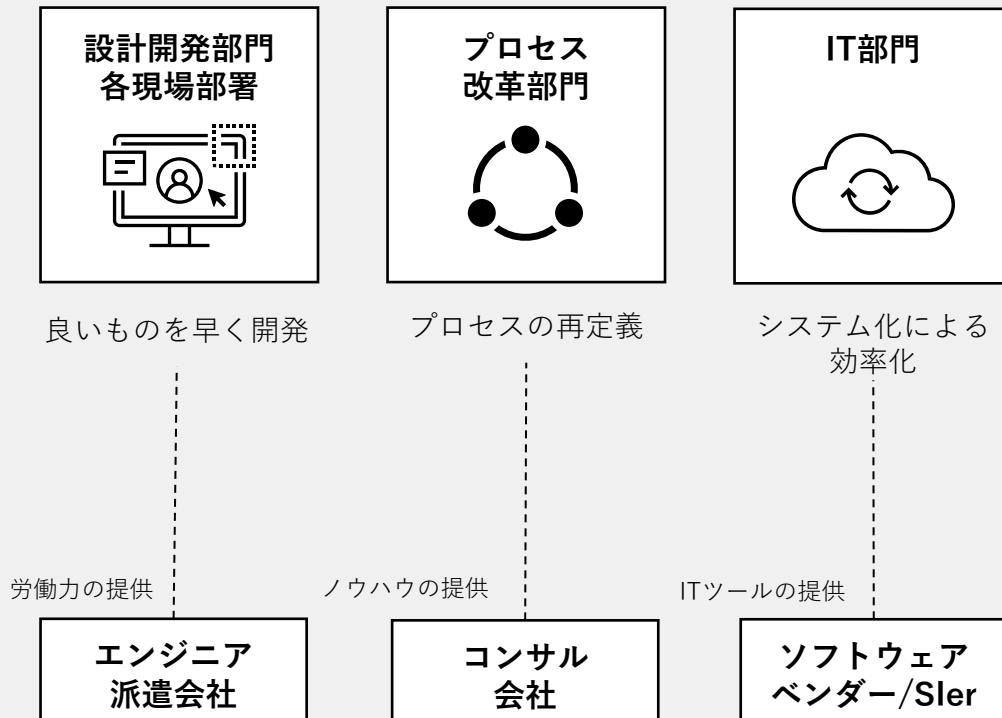
医療

重工業

プロGRESSの提供価値（ワンストップソリューションの提供）

設計開発部門を中心とする製品開発プロセスの上流工程に特化し、ワンストップソリューションを提供。
ツールの提供や工数の提供に留まらない真の課題解決を実現。

各部門へピンポイントソリューションを提供



部門横断でワンストップソリューションを提供

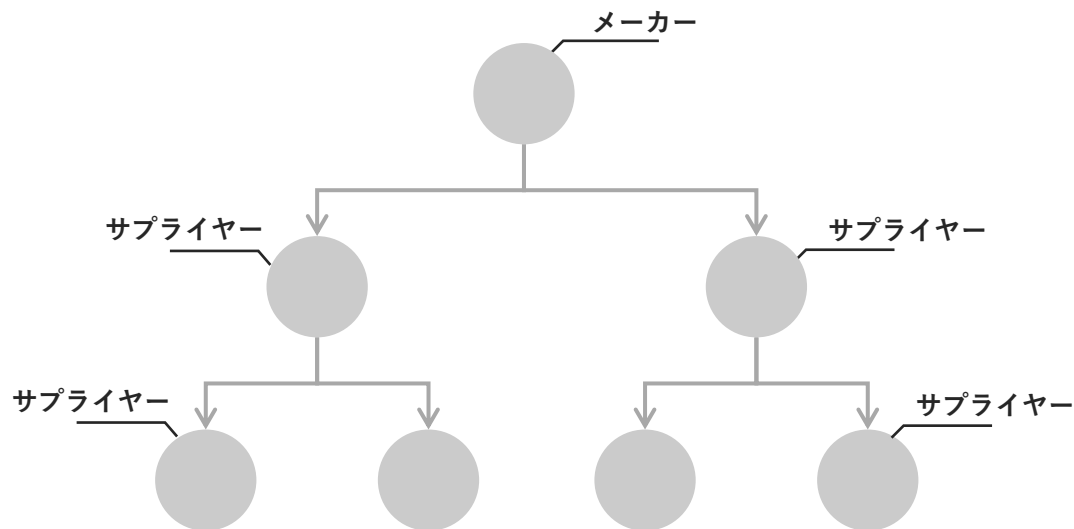


モノづくりにおける日欧の比較（自動車業界を例に）

日本における技術開発

垂直統合（ケイレツ）

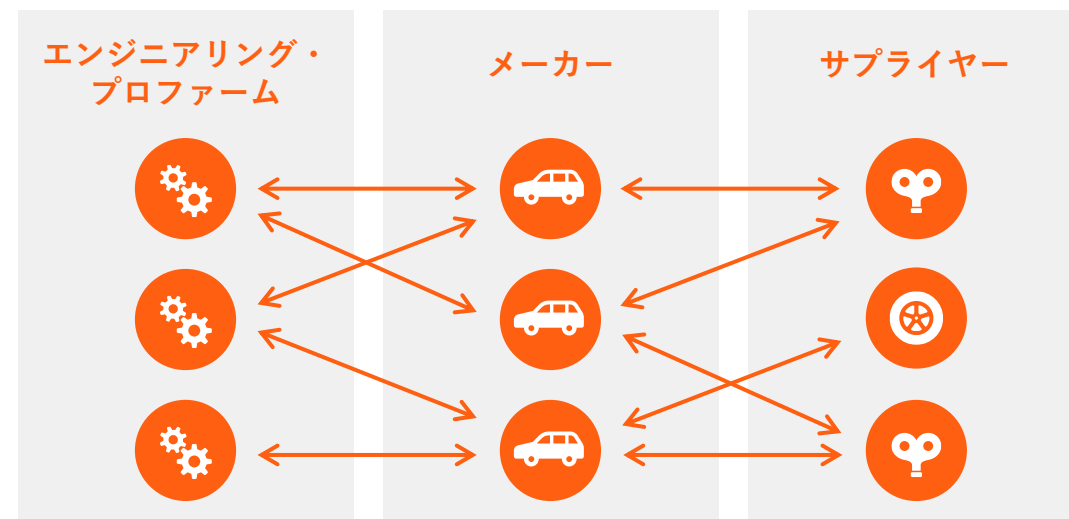
- 基礎研究から製品開発、アフターサービスに至るまでの一連の製品開発プロセス全てをメーカーを頂点とする自社系列の中で行う
- メーカーが主導的な立場で、系列メーカー間で調整を行う「すり合わせ」型の開発で、柔軟性に欠け、イノベーションが起きにくい
- 適切な技術承継の仕組みが確立されていない場合、重要な技術・ノウハウが失われる可能性も



デジタル化が進む欧州における技術開発

水平分業

- メーカー、エンジニアリング・プロフェッショナルファーム、サプライヤーがそれぞれ得意分野を担い、技術開発を行うことでイノベーションを促進
- エンジニアリング・プロフェッショナルファームは自社固有の知見やスキル・経験をメーカーに提供
- 電動化（EV）や自動運転（ADAS）などの自動車技術の変化に柔軟に対応。



欧州のエンジニアリング・プロフェッショナルファーム

エンジニアリング・プロフェッショナルファームは産学連携を進め、メーカーに高いレベルのソリューション・技術を提供。技術と人材の好循環を生み出し、メーカーが独自価値の創出や他社との競争にフォーカスできる環境を構築。

代表的なエンジニアリング・プロフェッショナルファーム



ドイツ・FEV社 アーヘン工科大と連携

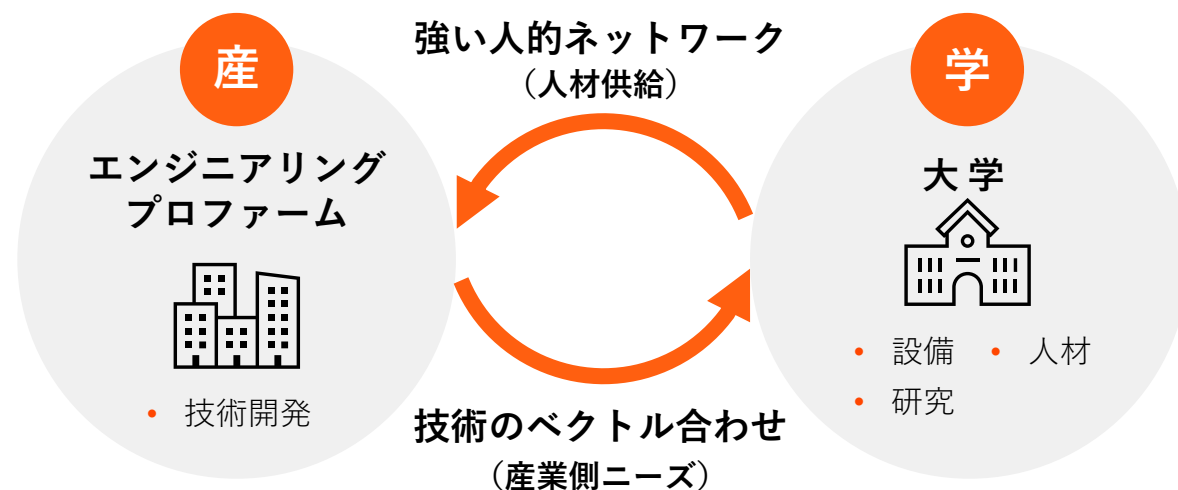
設立	1978年
本社	Aachen, Germany
売上高	約 1,100 億円
従業員数	約 7,000 名
拠点	25ヶ国（40拠点以上）



オーストリア・AVL社 グラーツ工科大／ ウィーン工科大と連携

設立	1948年
本社	Austria
売上高	約 3,500 億円
従業員数	約 12,200 名
拠点	29ヶ国（90拠点以上）

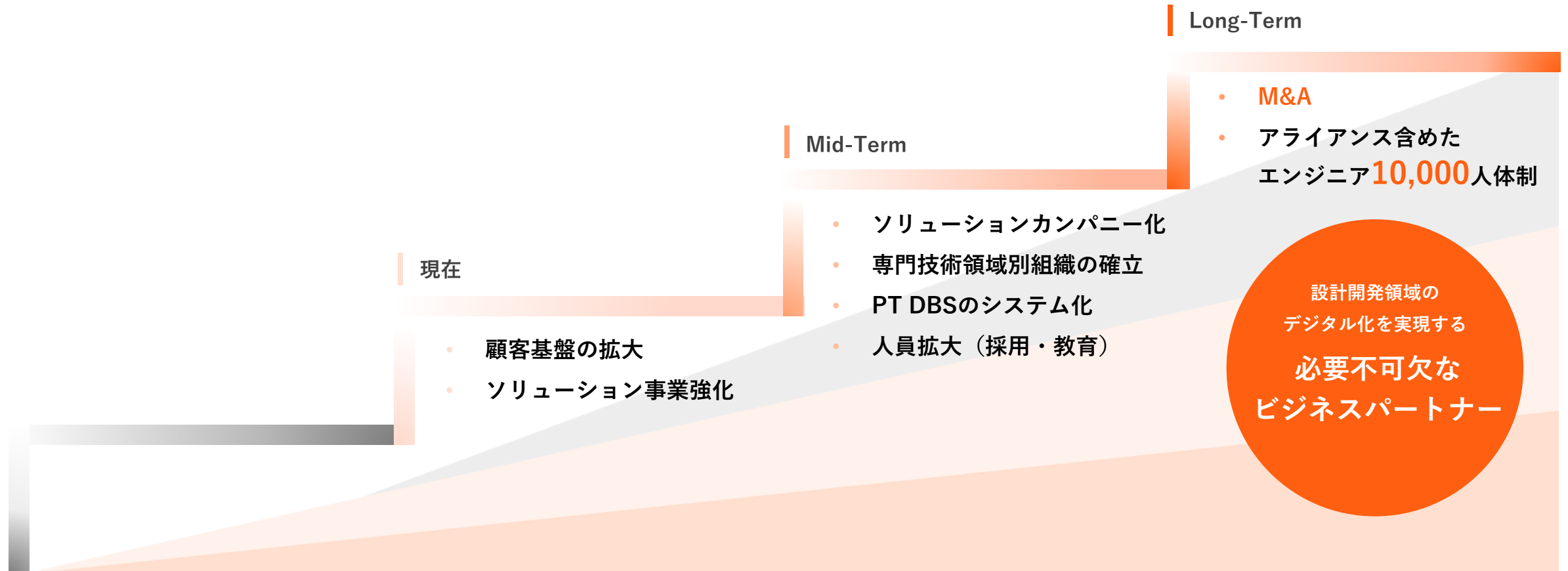
産学連携を通じた高度なソリューションの提供



メーカーは独自価値の創出に注力

プログレスグループの目指す姿

短期～中期では、技術強化や人材獲得・育成による組織作り等の戦略を進め、完全なソリューションカンパニーに脱皮。長期的にはM&Aやアライアンスを活用しながら、日本の製造業にとって必要不可欠なパートナーとしての地位を確立する。



ディスクロージャー・IRポリシー

ディスクロージャー・IRポリシー

株主・投資家の皆様との建設的な対話と経営上の重要な課題と位置づけ、IR活動に取り組んで参ります。

● IRカレンダー

当社の決算期は2月末日です。四半期ごとにアナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催予定です。



● 沈黙期間(IR自粛期間)

決算数値等の漏洩防止を目的として、各四半期の期末日の翌日から各決算発表日までを沈黙期間(IR自粛期間)としております。この期間中は、決算・業績見通しに関する質問への回答やコメントを差し控えております。

問い合わせ先、ディスクレーマー

● IRに関するお問い合わせ

プログレス・テクノロジーズ グループ株式会社 IR

TEL：050-3816-9386 / e-mail：ir@progresstech.jp

● 次回決算発表(予定)：2026年2月期 第3四半期決算

2026年1月14日(水)：決算発表(決算短信の開示)

2026年1月15日(木)：決算説明会(アナリスト・機関投資家向け)

本資料の注記

- ・ 本資料は、監査法人による監査を受けておりません。
- ・ 金額は、表示単位未満を切り捨てて表示、%(パーセント)で表示する項目は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。
- ・ 売上構成比、前期差、前期比及びその他%(パーセント)で表示する項目は、表示単位未満を切り捨てた金額で計算しております。

見通しに関する注意事項

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、株主・投資家の皆様ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

世界を進める、一步を。



PROGRESS
TECHNOLOGIES